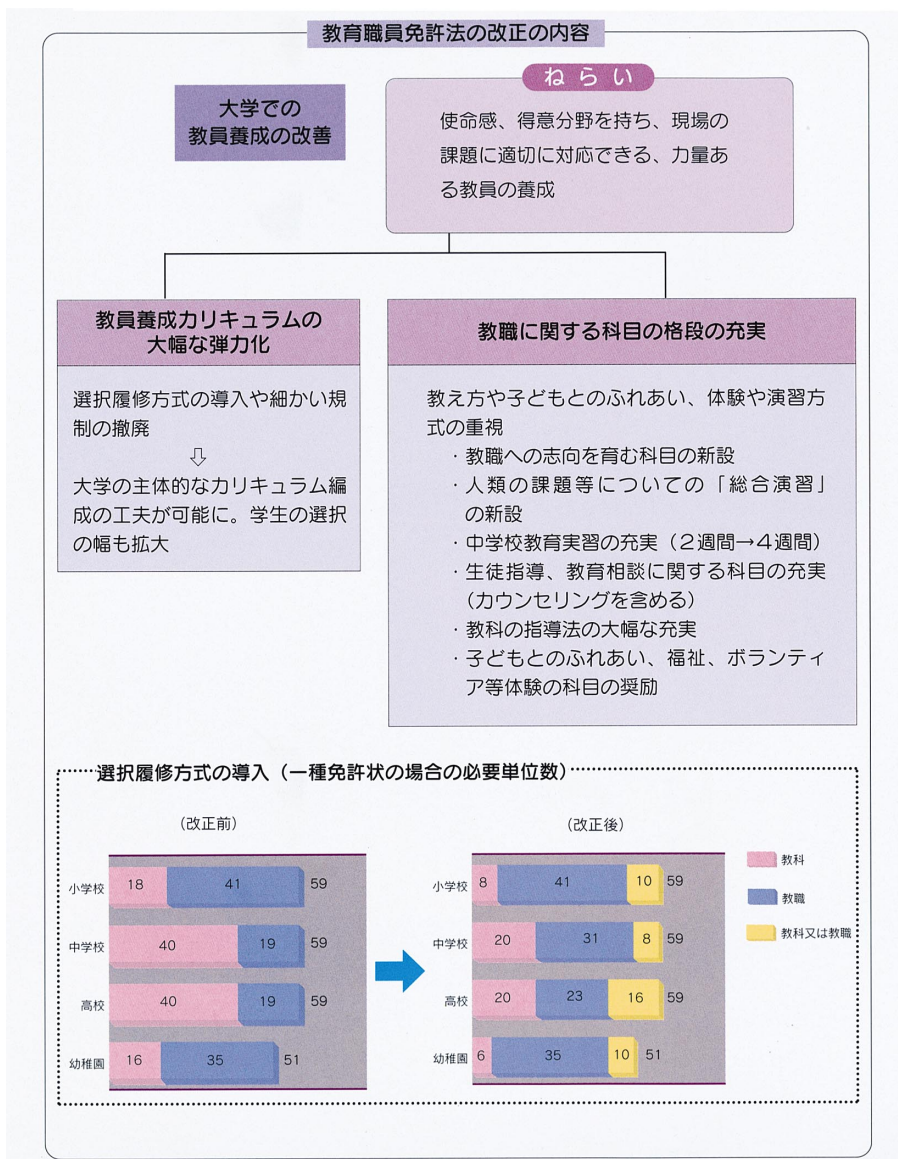


Q 21 教育内容をいくら良くしても，結局は実際に子どもたちと直接接している先生がどのように教えるかにかかってくると思います。魅力ある先生を養成，採用するためにどのような取組が行われているのでしょうか？

A 大学などでの授業の改善や多様な採用方法を取り入れるなどして，魅力ある先生の養成・確保に努めています。

### 大学等における教員養成の改善

平成10年6月に教育職員免許法が改正され，大学などでの教員養成カリキュラムが変わりました。



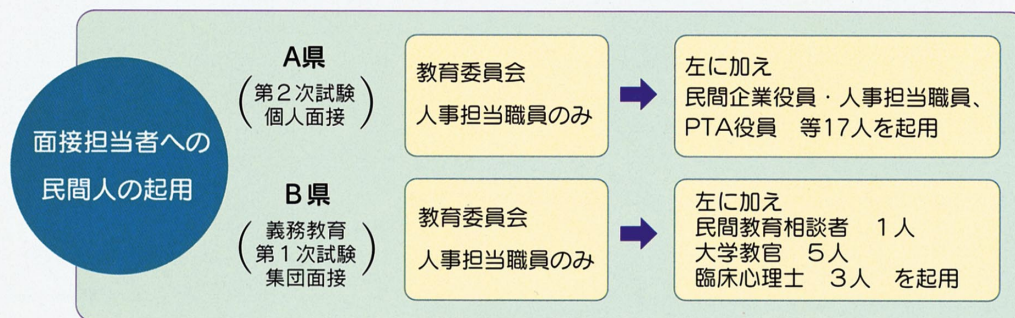
### 多様な採用方法の取入れ

都道府県や指定都市の教育委員会では、個性豊かで多様な人材を確保するため、人物評価重視の方向で、選考方法の多様化、選考尺度の多元化を図っています。また、採用スケジュールも早期化しています。

(単位：都道府県市数)

事 項	昭和62年度	平成9年度
一次・二次両方で面接	17	42
個人・集団面接両方実施	47	53
面接担当者への民間人の起用	1	13
論文試験	52	58
模擬授業	—	33
指導案（授業の指導計画）	—	8
英語実技	36	55
小学校・音楽実技	49	50
小学校・体育実技	48	54
適性検査	48	53
クラブ活動の評価	—	57
ボランティア活動の評価	—	58
社会経験（民間企業経験・在職経験等）の評価	—	57
特別選考試験(スポーツ、芸術、英語、社会人等)	0	6

(注) 表中の「—」は、調査なし



特に秀でた技能・実績を有する人や豊富な経験を有する人を教員に採用するため、いくつかの県市では特別選考を実施しています。

**特別選考試験の実施**

○スポーツ・芸術特別選考（A県 平成7年度～）

資格	条件	試験方法
教員免許所有 40歳未満	・スポーツ:世界大会レベルの大会出場経験者 ・芸術:世界レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績をおさめた者	書類選考 面接 等

○英語科教員特別選考（B県 平成7年度～）

資格	条件	試験方法
・常勤教員 教員免許所有 40歳未満 ・特別非常勤講師 20以上65歳未満 (教員免許は持っていない可)	・外国で5年以上生活、活動したことがあるかつ ・高い英語表現能力があり、外国の社会・文化に造詣がある者	論文(英文・日本語)提出 英語論文試験 面接 等